

あなたの預貯金が狙われている！

～ネットバンキングの不正アクセス・不正送金事案ついて～

あなたは銀行などが提供している『インターネットバンキング』を利用していますか？

インターネットバンキングは、銀行へ出向くことなく、自宅や職場において残高照会や口座振り込みができる便利なサービスです。

しかし、その利用者の預貯金を狙った犯罪が全国的に発生しており、県内の利用者の被害も確認されております。

代表的な手口としては、利用者のパソコンがコンピュータウイルスに感染していることが原因で、不正に情報を入力させるインターネットバンキングのページが表示され、そこに入力したパスワードなどの情報が漏えいしてしまい、犯罪者に預貯金を奪われてしまうといったものです。

被害に遭わないためにも次に挙げる対策を実施して下さい。



不正アクセス・不正送金事案への対策

- ウイルス対策ソフトの導入と自動更新
- Windows等の基本ソフト(OS)やウェブブラウザ(IE、Firefox等)などの各種ソフトウェアを最新の状態にする。
- メーカーサポート期限が経過したソフトウェア(OSを含む)を利用しない。
- パスワード管理の徹底(可能であれば2段階認証の利用)
※ 詳しくは「重要なパスワードの管理！」のページを御覧ください。
- 金融機関が提供しているセキュリティ対策を導入する。
(電子署名、フィッシング対策ソフトの導入)

警察の相談窓口

- ・ 警察本部警察安全相談窓口
TEL 098-863-9110(又は、プッシュ回線等から#9110)
- ・ 各警察署の警察安全相談窓口

いつもと違う画面が表示された場合は、銀行や警察に相談を！

